

エコアクション21 環境活動レポート 4



エコアクション21
認証・登録番号0002920

平成21年度
H21年10月～H22年9月
2004年版ガイドライン対応



目次

1.環境方針	1
2.事業の概要	2
3.目標	3
4.活動内容	4
5.実績	5
6.評価と是正点	6
7.関連法規	7
8.代表者による評価と見直し	8

平成22年12月5日

ヤマコー・テクノ流通株式会社

1.環境方針

環 境 方 針

< 環 境 理 念 >

ヤマコー・テクノ流通株式会社は、物流に携わる企業として深刻化する大気汚染・地球温暖化の防止のため、環境保全活動を推進することが企業の社会的責任と認識し、輸送・物流管理サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷の低減につとめます。

< 行 動 指 針 >

- 1.物流活動が環境に与える影響を認識し、当社の事業活動に関わる環境関連法規や、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2.輸送の効率化、エコドライブによりCO2を削減し、省資源、省エネルギー運動を推進します。
 - ①総エネルギー投入量(化石燃料・電力他)を低減し、二酸化炭素の削減につとめます。
 - ②廃棄物排出量の削減、分別適正処理をいたします。
 - ③エコドライブ・節水活動による省エネ、省資源化を推進し、資源の保全につとめます。
- 3.環境理念・行動指針の周知徹底を図り、環境保全に関する教育、啓蒙活動を実施します。
- 4.環境方針達成のため、目標・活動計画を設定し、社員一丸となった環境保全活動の推進をいたします。
- 5.環境への取組を情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

平成 19年 12月 1日

ヤマコー・テクノ流通株式会社
代表取締役

2.事業の概要

1)事業所名及び代表者名

事業所名 ヤマコー・テクノ流通株式会社
 代表取締役 山崎 高嗣

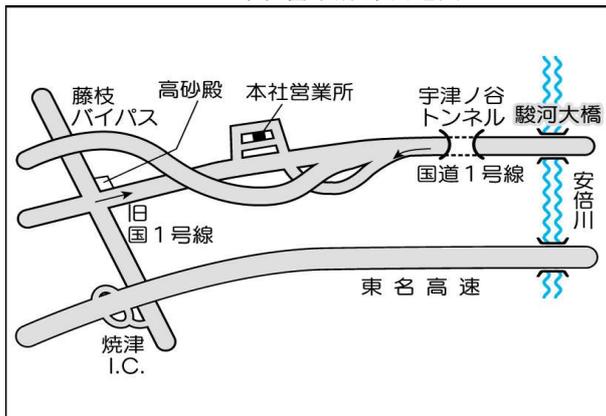
2)所在地

本社営業所 〒421-1121 静岡県 藤枝市 岡部町 岡部1457番地の1
 TEL 054-667-3555 FAX 054-667-2110

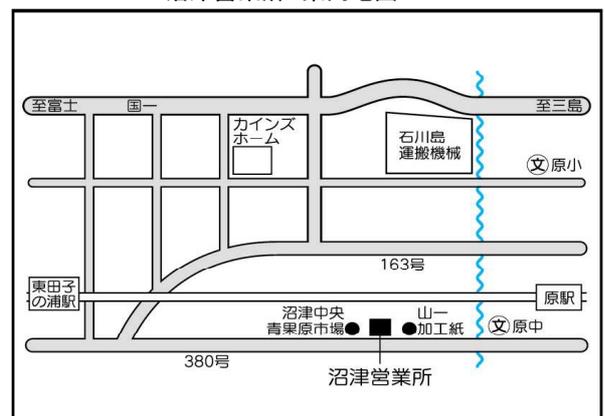
沼津営業所 〒410-0314 静岡県 沼津市 一本松 116番地の2
 TEL 055-969-2277 FAX 055-966-2280

本店 〒422-8035 静岡県 静岡市 駿河区 宮竹一丁目10番10号
 TEL 054-236-1171 FAX 054-236-1181

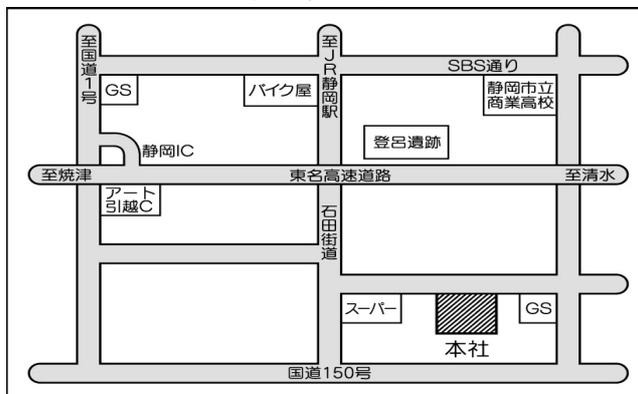
本社営業所 案内地図



沼津営業所 案内地図



本店 案内地図



3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者	常務取締役 見城 充	TEL 055-969-2277 FAX 055-966-2280 E-mail kenjoh@yamakoh.biz
副環境管理責任者	本社営業所所長 吉川信悟	TEL 054-667-3555 FAX 054-667-2110 E-mail kikkawa@yamakoh.biz
	沼津営業所所長 松永交右	TEL 055-969-2277 FAX 055-966-2280 E-mail matsunaga@yamakoh.biz

4) 事業内容

冷凍・冷蔵食品の保管及び輸・配送

5) 事業規模

【会社全体】

設立	昭和59年4月
資本金	6,300万円
売上高	1,005百万円(平成22年9月期)
従業員数	92名(内アルバイト14名)
車両台数	46台
運送事業免許番号	中運自貨二 第3103号

【対象事業所】 本社営業所・本店

従業員数	45名(内アルバイト7名)
敷地面積	3,180m ²
延床面積	1,548m ²
車両台数	20台

【対象事業所】 沼津営業所

従業員数	35名(内アルバイト7名)
敷地面積	2,462m ²
延床面積	1,398m ²
車両台数	17台

6) 事業形態

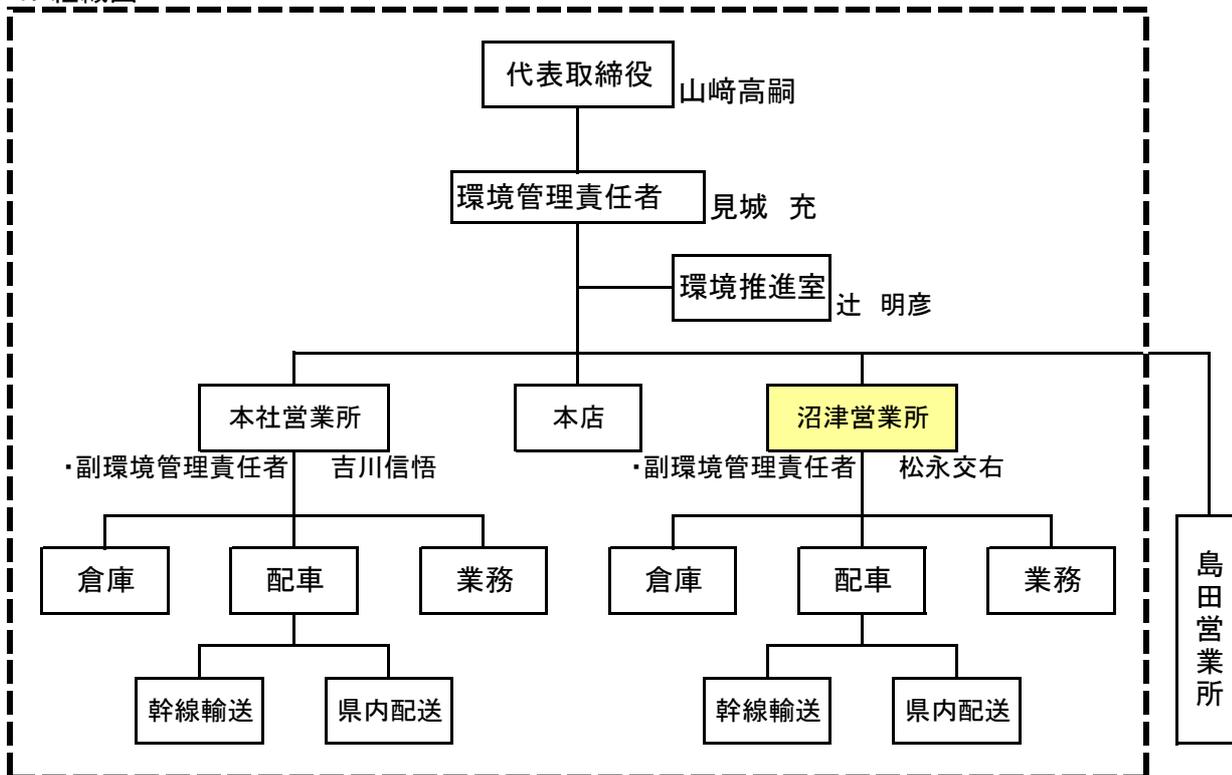
決算期間	期首 10月1日 ~ 期末 9月30日
年間稼働日数	365日

7) 実施体制

┌───┐内が対象事業所

■が新規参画営業所

1. 組織図



2. 各自の役割・責任及び権限

①社長

- ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定並びに見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境方針、環境目標の決定並びに見直し
- ・環境活動計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備と投入
- ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・環境活動計画の推進状況把握と社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境関連教育、訓練の実施指示
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供

③副環境管理責任者

- ・部門の環境活動計画の推進
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理・監視、達成状況を定期的に確認評価

④部門責任者

- ・目標達成のため担当部門の環境活動計画の推進
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理・監視

⑤環境推進室

- ・環境活動結果のデータ管理
- ・環境活動レポートの作成と公表
- ・エコアクション21実施に必要な文書作成、記録の整理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備

3.目標

1)環境数値目標 本社営業所/沼津営業所 合計

環境目標項目	単位	過去実績	環境目標値/対20年度比		
		H20年度 H20.10～H21.9	H21年度 H21.10～H22.9	H22年度 H22.10～H23.9	H23年度 H23.10～H24.9
二酸化炭素排出量削減 電気・ガソリン・軽油	kg -CO2	2,458,624	H20年度実績を維持 2,458,624	H20年度実績を維持 2,458,624	H20年度実績を維持 2,458,624
軽油使用量削減	L	523,318	H20年度実績を維持 523,318	H20年度実績を維持 523,318	H20年度実績を維持 523,318
購入電力量	Kwh	562,778	8.3%増 1,105,718	7.7%増 1,100,189	7.2%増 1,094,661
廃棄物等排出量削減 最終処分量の削減	kg	26,830	59.4%増 42,754	55.4%増 41,698	51.6%増 40,682
水資源投入量削減	m ³	449	2%増 720	1.4%増 716	1%増 713
走行距離当りの 二酸化炭素排出量	Kg-Co2 /Km	0.682	1%削減 0.675	1.5%削減 0.672	2%削減 0.668

* 軽油は走行距離により消費量が増減するため、絶対数量とは別に、走行距離当たりの二酸化炭素排出量で目標設定しております。

* 走行距離の採用データは正確性、処理の利便性を考慮して日報データからデジタコ・データに変更しました。

* 今期より沼津営業所が新たに参加。「二酸化炭素排出量・軽油使用量」の削減目標は営業所ごとには「増加の目標」もありますが、
全社では昨年維持としております。

* 廃棄物、水、電気量については、沼津営業所での新規事業対応で廃棄物が出ますので本年は増の目標となりますが、順次削減してまいります

4. 主要な部門活動の内容

* 下線項目が今期主要管理ポイント

管理部門	活動内容
配車 (幹線・配送)	二酸化炭素排出量削減(軽油使用量の削減)/走行距離当たり二酸化炭素排出量
	* 配車効率の向上
	* デジタコ・ドライブレコーダーによる指導の徹底
	* 急発進・急加速・急ブレーキ
	* エンジン回転数抑制
	* 車間距離保持
	* 定速走行の励行
	* アイドリングストップの励行
	* エンジンブレーキの活用
	* タイヤの空気圧チェック
* 早め早めのシフトチェンジ	
倉庫 / 業務	廃棄物等排出量削減(最終処分量の削減)
	* 備品等の使用に関し、慎重に取扱い長持ちさせる。
	* 新規購入をせず、できるだけ修理して使用。
	* ゴミの持込禁止
配車	排水量削減(水資源投入量削減)
	* 洗車頻度の管理。洗車時の水垂流し禁止。
	* ホースノズル装着。水漏れチェック。
	* トイレ水量の最小化(タンク水量調整)
倉庫	購入電力量の削減
	* 全倉庫員に対し環境基本教育の実施
	* 冷氣保持の最大効率を求め最適な冷凍機の使用コントロールを実施。
	* デマンド値コントロール
	* 休憩時や空室時の消灯および減灯

5.実績

目標に対する実績

環境目標項目	単位		実績	目標比 前年削減率	評価
二酸化炭素排出量削減 電気・ガソリン・軽油	Kg-CO2	目標値	2,458,624	109.2%	○
		実績	2,251,690	-8.4%	
軽油使用量削減	L	目標値	781,620	113.0%	○
		実績	691,402	-11.5%	
購入電力量削減	Kwh	目標値	1,105,718	100.0%	×
		実績	1,105,853	8.3%	
廃棄物等排出量削減 (最終処分量の削減)	kg	目標値	42,754	141.4%	○
		実績	30,230	12.7%	
水資源投入量削減	m ³	目標値	720	90.9%	×
		実績	792	12.2%	
走行距離当り 二酸化炭素排出量削減	Kg-CO2 /k m	目標値	0.675	103.8%	○
		実績	0.650	-4.7%	

6. 評価と是正点

1) 項目別評価と是正点

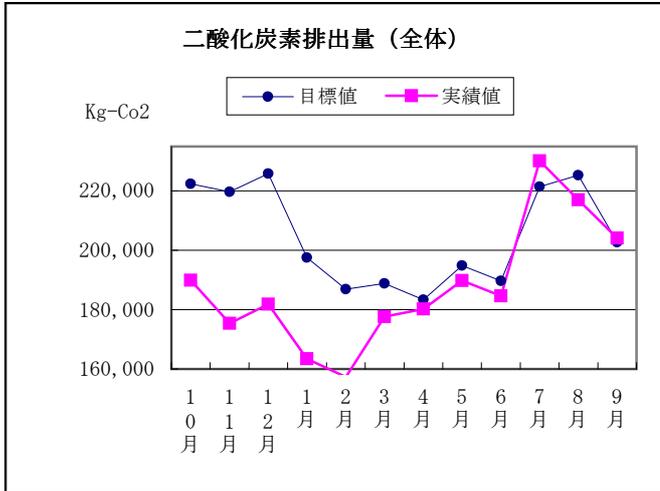
環境目標項目	取組み結果の評価	是正点
二酸化炭素排出量 /電気・ガソリン・軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・車両減少(4台)により軽油・ガソリンの使用量が減る。 ・エコドライブ推進による効果も大きい。 (対前年 ▲8.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全社員の「Eco意識向上」に取り組む。
軽油使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・車両削減。 ・「燃費実績揭示」の効果も大。 (対前年 ▲11.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル、ドライブレコーダーによる個別指導の徹底 ・大型乗務員と沼津乗務員への指導強化。
購入電力量	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津における新規業務(マックスヴァリュ等)により、倉庫の開閉頻度などが予測を上回り沼津営業所で未達成となる。 ・本社営業所も夏季には前年オーバー、目標未達成。 ・削減の具体的な対応がとられていなかった。 (対前年 8.3%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫員のEco基本意識の再教育の実施。 ・倉庫部門として具体的削減策の立案・実施。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 具体的なデマンド値管理の手順書作成と実施。 2) 冷凍機は「深夜数時間の通電停止」。 3) 倉庫内照明の管理方法の確立。 4) 霜取り計画の作成と実施
廃棄物量	<ul style="list-style-type: none"> ・岡部で前年を0.3%上回り、予算達成率99.2% ・前年増の原因は沼津の新規業務によるもの。 (対前年 12.7%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナへは稠密度を高め投入。 ・購入前に在庫確認、修理の是非などを検討。
水投入量	<ul style="list-style-type: none"> ・本社営業所での8月～9月の異常値が予想外であった。 ・沼津は員数増によりトイレ水量増が要因。 (対前年 12.2%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・異常事態把握のチェック機能強化。 ・ホースノズル装着。水漏れチェック。
走行距離当り /二酸化炭素排出量	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転指導の結果である。 (対前年 ▲4.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの指導を更に推進する。 ・積載率管理/効率配車の推進。

2) 環境活動の取組み結果の評価

対象全営業所 ①

① 二酸化炭素排出量削減（電気・ガソリン・軽油）

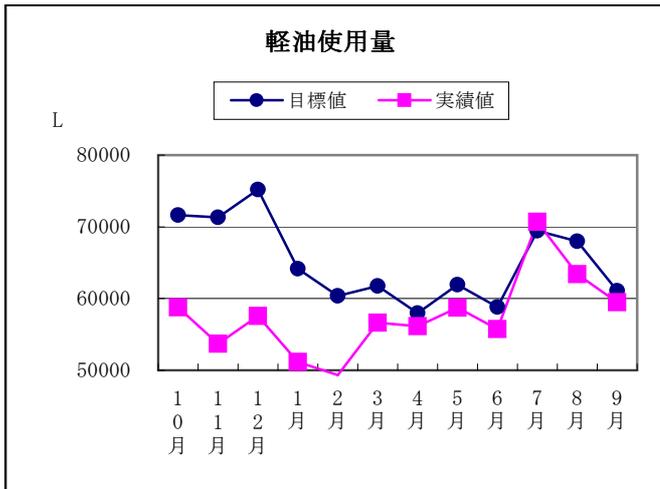
単位：Kg-Co2



年間合計		年間評価		
目標値	2,458,624	○		
実績値	2,251,690			
達成率	109.2%			
累計	前年比	91.6%	前年差異	▲ 206,934
結果の評価				
・前半は良かったが、7月～8月は暑さのため目標を上回ってしまった。				
是正処置				
・夏場のアイドリング・ストップの実施を指導。 ・冷凍庫の設定温度のこまめなコントロール。				
代表者コメント				
・デジタコによる具体的な走行指導。 ・倉庫員の意識向上。				

② 二酸化炭素排出量削減（軽油使用量削減）

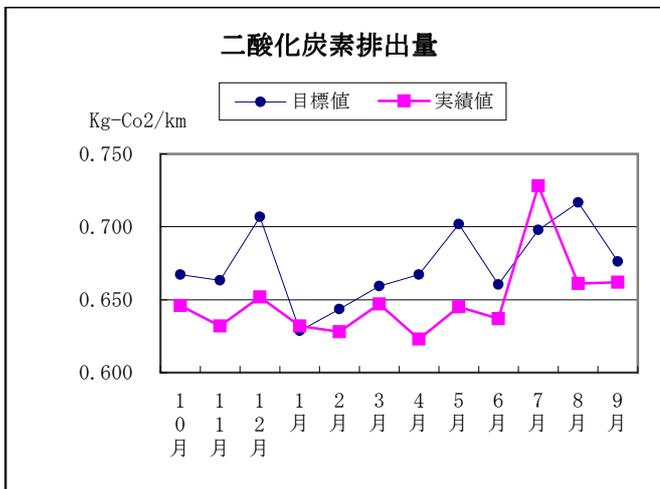
単位：L



年間合計		年間評価		
目標値	781,620	○		
実績値	691,401			
達成率	113.0%			
累計	前年比	88.5%	前年差異	▲ 90,219
結果の評価				
・全社で4台の減車の効果は大きい。				
是正処置				
・低燃費車への個別指導の推進。 ・夏場のアイドリング・ストップの指導。				
代表者コメント				
・デジタコ、ドライブレコーダなどの機器データによる個別指導を強化する。 ・車種別のアイドリングストップ方法の指導を実施。				

③ 軽油距離当り二酸化炭素排出量削減

単位：Kg-Co2/km

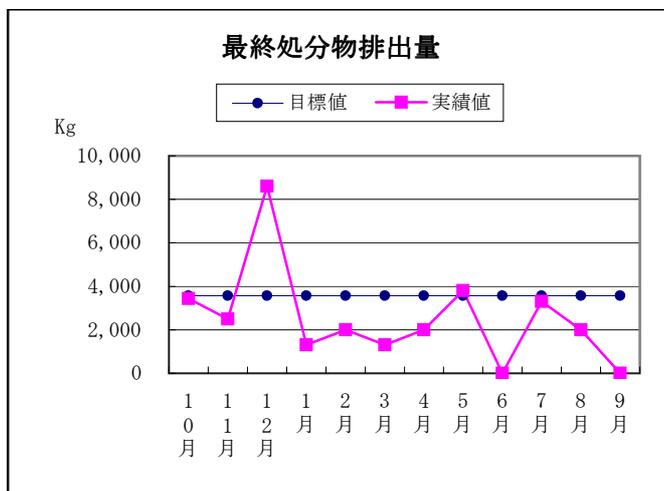


年間合計		年間評価		
目標値	0.675	○		
実績値	0.650			
達成率	103.9%			
累計	前年比	95.3%	前年差異	▲ 0.032
結果の評価				
・走行による燃費と伴に改善している。				
是正処置				
・今後も、燃費走行の指導を継続する。				
代表者コメント				
・車両事故削減にもなるため、省燃費運転の指導を継続します。				

④廃棄物等総排出量削減（最終処分量削減）

対象全営業所 ②

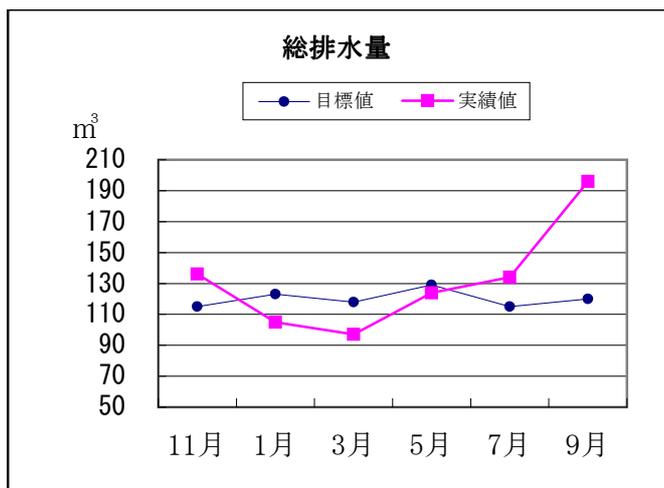
単位：Kg



		年間合計		年間評価
目標値		42,754		○
実績値		30,230		
達成率		141.4%		
累計	前年比	112.7%	前年差異	3,400
結果の評価				
・一般ゴミが減らせたため全体で目標達成ができた。				
是正処置				
・分別を引き続き行う。 ・コンテナへは小さくして投入。				
代表者コメント				
・まだまだ意識不足と感ずるため、特に倉庫員への教育を徹底する。				

⑤総排水量削減（節水）

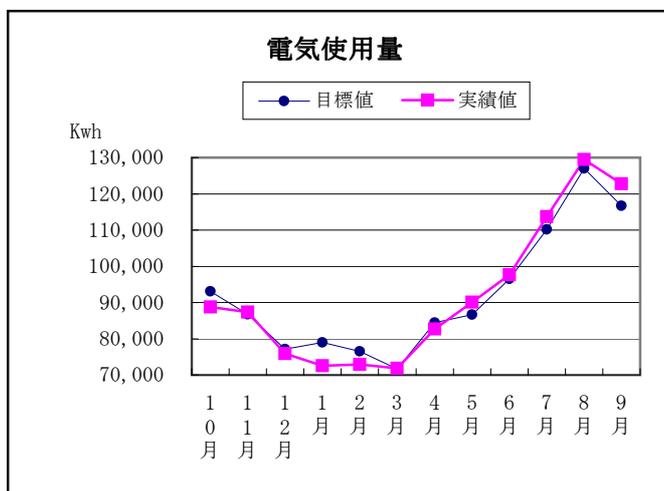
単位：m³



		年間合計		年間評価
目標値		720		×
実績値		792		
達成率		90.9%		
累計	前年比	112.2%	前年差異	86
結果の評価				
・後半の沼津でのパートさん増員が全体に影響する。				
是正処置				
・スタンド洗車に変更する。				
代表者コメント				
・社内洗車のコントロール。				

⑥電気使用量削減

単位：Kwh



		年間合計		年間評価
目標値		1,105,719		×
実績値		1,105,853		
達成率		99.99%		
累計	前年比	108.3%	前年差異	84,551
結果の評価				
・倉庫保管料も増えているため、減らすのは困難が予測される。				
是正処置				
・インバータ100%で稼動しているものを 60%で長時間運転でトライしてみる。				
代表者コメント				
・消費電力を下げるため、照明器具をインバータに変更する事を検討。				

7.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に関連する法規は以下の通りです。

※環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年ありません

※平成22年6月18日 藤枝市生活環境課にて法律、条令の改定は無い事を確認しました。

平成22年12月1日

法規等の名称	適用内容	備考(規制基準値、その他)	遵守状況
大気汚染防止法 静岡県生活環境の 保全等に関する条例 第103条～第105条	①環境負荷の少ない自動車を購入し、 使用に努める ②輸送効率向上を図り、走行量を抑制し、 必要な整備を行い適正運転を励行 ③運転者は停止の際は、原動機を停止し 駐車の際も停止するよう指導		○
道路運送車両法	車輛の安全性の確保、公害防止、 環境保全及び安全についての技術的 向上を図る。	車検、定期点検 整備管理者の設定	○
自動車NOX・PM法	窒素化合物、粒子状物質の排出の 抑制を図る。排出の少ない車種の 規制。排出抑制のために自動車 使用管理計画の作成。	排出基準設定適応車 指定地域乗り入れ 車検時定期点検、	○
自動車リサイクル法	リサイクルに携わる関係者が適正 な役割を担い、使用済み車輛の積極 的なリサイクル、適正処理を行う。	リサイクル料金の支払い。 使用済自動車の引取証明書。	○
騒音規制法 静岡県生活環境の 保全等に関する条 例施行規則別表第8	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守及び施設の届出	特定施設 空気圧縮機(3.75Kw以上) 冷凍機(3.75Kw以上)	○
振動規制法	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守及び施設の届出	特定施設 圧縮機(7.5Kw以上)	○
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守 収集運搬業者及び処分業者の委託 契約 マニフェスト管理	表示板掲示(60cm以上) 契約書、業者の許可書 A・D・E票の保管 5年間	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する 条例	廃棄物管理責任者の設置 廃棄物処理先の確認		○
廃棄物処理法 施行規則	H.20.4月よりマニフェストを交付する排出業者は は、H19.4～H20.3一年間の交付状況について 「産業廃棄物管理表交付等状況報告書」を作 成し、H20.6月までに知事等に提出		○
浄化槽法	許可証、定期点検記録	点検記録3年間保管	○
高圧ガス保安法	高圧ガスによる災害を防止するため 高圧ガスの貯蔵、移動、消費等を 規制し、自主的な保安活動を促進し 安全を確保する。	許可 貯蔵量が3,000m ³ の場合 届出 貯蔵量が300m ³ 以上で 3,000m ³ 以下の場合	○
消防法/危険物	火災の予防・警戒・鎮圧により、国民の生 命、身体及び財産を火災から保護すると ともに災害による社会福祉の増進に資する 危険物の屋外タンクの貯蔵、取扱い等の 安全の確保。	危険物保安管理者を定め市長に届出 許可証、標識、掲示板の設置。 定期点検	○
フロン回収・破壊法	オゾン層の破壊や地球温暖化を招くフロンを 大気中にみだりに放出する事を禁じ、機器 の廃棄時の適正な回収、破壊処理に実施 を義務付ける。	回収依頼書又委託確認書の3年間保存 回収業者が交付する「引取証明書」の 3年間保存	○

8.代表者による全体の評価及び見直し

(活動期間 H.21年10月1日 ~ H.22年9月30日)

作成 平成22年 11月 12日

1. 個別評価

項目	評価
環境目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・車両台数が昨年より4台減った事により、前年に比べ「二酸化炭素排出量」が8.4%、「軽油使用量」が11.5%、「走行距離kg-co2」が4.7%とそれぞれ減少し目標を達成。 ・「廃棄物」は沼津の取扱量の増大にもかかわらず目標達成。 ・「電力」と「水」は5月以降予算をクリアできなかった。
環境活動計画の達成状況 (取組み状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡部倉庫と沼津営業所の取り組みは満足できるものではなかった。
教育・訓練の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・個人実績等の掲出を行い乗務員教育は成果があったと思われるが、倉庫員への教育は不十分であった。
該当環境関連法規等の遵守 および制定・改廃状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規に則り営業活動、環境活動を実施。 ・役所にて関連法規の改廃は無い事を確認済み。
外部とのコミュニケーション の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・活動レポートを四半期ごとに掲示。 ・クレーム等はありませんでした。
規定類、手順書等の関連文書 関連記録の最新版管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はなかった。

2.見直し及び変更

項目	見直し・変更
環境方針	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は島田営業所も参画し全社で推進する。
環境目標	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所間の車両台数の移動、取扱い業務の変動などがあるため全社的な観点で目標設定を行う。 ・新規業務取扱い、施設の機能変更など実績値の増大が予測されるテーマについては、実質的な目標を設定したため 昨年対比で増加の目標もあります。
環境活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・部門ごとの取組みに大きな差異が出ており、且つ 次期は島田営業所の参加もあるので「教育」を重点に対応する。 ・より具体性のある行動基準を策定することとする。

3. 抱負

・沼津営業所の参加、新規業務拡大などがあったなか、主要課題である化石燃料の削減は実現できました。但し、電力量と排水量では目標達成が出来ず無念の結果に終わりました。要因は活動レベルが極めて脆弱な部門があったことです。まずは部門管理者への取組意識の強化、又部門員へは具体的な行動手順を作成しての実行が重要と考えております。

・来期もEA21の経営システムを大いに活用し、又 グリーン購入にも積極的に対応し、継続的に環境負荷を低減させて「環境配慮型の経営」を推進したいと思います。

ヤマコーテクノ流通株式会社
代表取締役 山崎高嗣